



基本目標2 利用者がメリットを実感できる制度運用

- (1) 利用者本人の意思決定支援および身上保護の実施
  - ・意思決定支援・身上保護を重視した成年後見制度の運用に資する支援体制の構築
- (2) 後見人の選任における配慮
  - ・家庭裁判所が適切な後見人を選任できるよう、本人を取り巻く支援の状況等を的確に伝えられる体制の整備
- (3) 後見制度と他のサービスとの一体的提供
  - ・日常生活自立支援事業(※3)からのスムーズな移行
  - ・成年後見制度利用支援事業(※4)

基本目標3 制度理解と不正防止の仕組みの構築

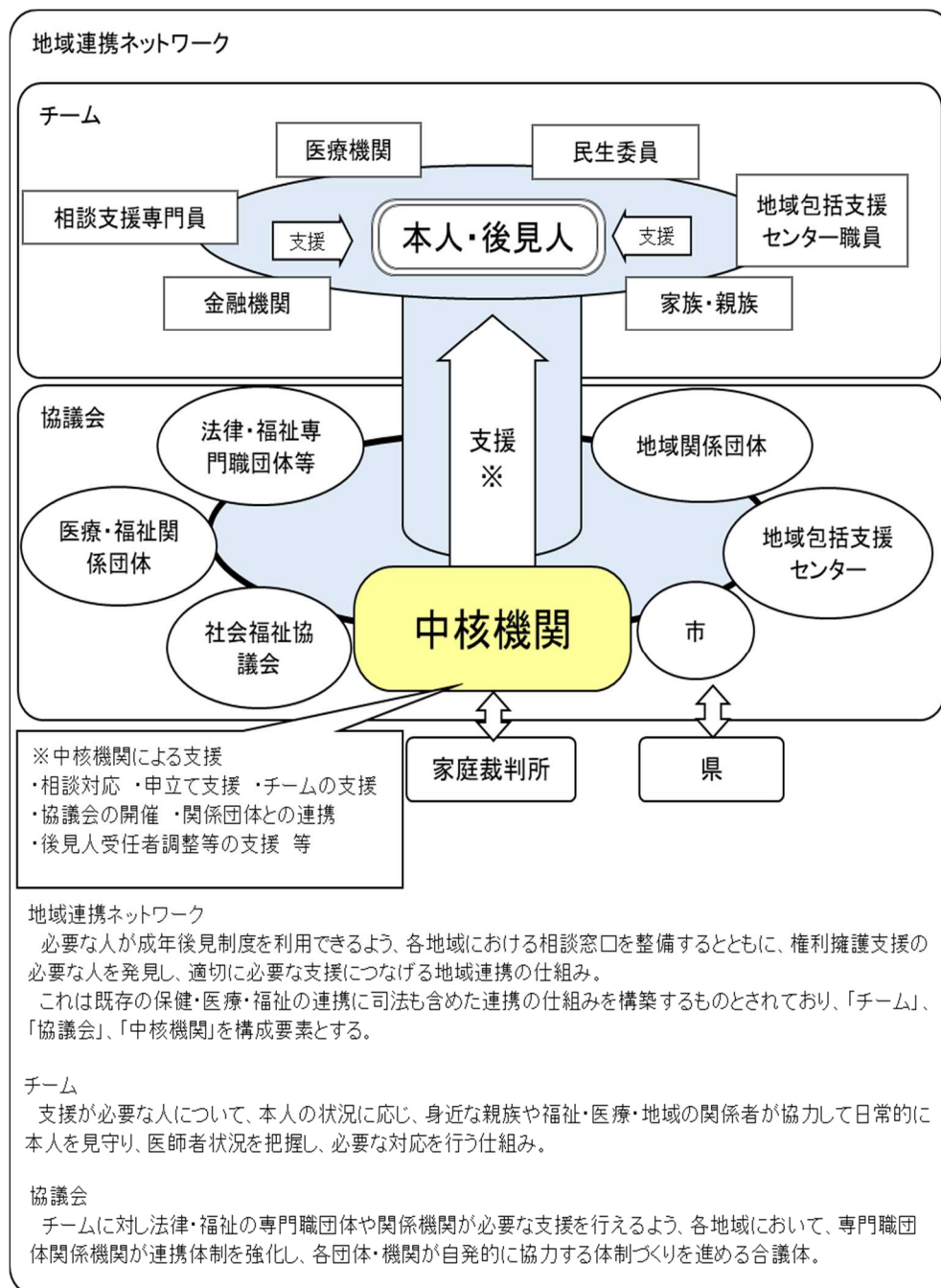
- (1) 親族後見人の制度への理解の促進
  - ・専門職団体との協力による親族後見人等への指導および助言体制の構築
- (2) 関係機関の連携による不正防止への取組
  - ・家庭裁判所と専門職団体等との連携や、金融機関等の協力による、不正事案の発生を抑止

参考資料（基本計画の策定過程、策定委員名簿）

### (※1) 地域連携ネットワーク

成年後見制度利用において、各地域における相談窓口を整備するほか、本人の状況に応じ親族、福祉・医療・地域の関係者と後見人がチームとなって日常的に本人を支えるとともに、福祉・法律の専門職が専門的助言・相談対応等の支援に参画する仕組みです。全国のどの地域に住んでいても、成年後見制度の利用が必要な人が、制度を利用できるような地域体制を目指すものです。

#### 地域連携ネットワークのイメージ



## （※ 2）中核機関

成年後見制度の利用における地域連携ネットワークの中核となる機関のことで、様々なケースに対応できる法律・福祉等の専門知識や地域の専門職等から円滑に協力を得るノウハウ等を蓄積し、地域における連携・対応強化の推進役としての役割を担います。

なお、本市では、以下のとおり設置を予定しています。

### 中核機関の概要

名称	（仮称）秋田市成年後見支援センター
開設時期	令和 4 年 1 月
運営方式	委託
委託先	秋田市社会福祉協議会（予定）
業務内容	下記のとおり

### 中核機関「（仮称）秋田市成年後見支援センター」の機能（開設時）

※開設年度においては広報、相談機能等を主な取組内容とし、令和 4 年度以降に受任者調整や後見人支援等の取組を順次開始していく予定です。

#### 1 広報機能

##### 【取組内容】

- (1) パンフレットの作成・配布
- (2) 市民向け講演会等の開催
- (3) 地域団体、関係団体向け出前講座（令和 4 年度以降）

#### 2 相談機能

##### 【取組内容】

- (1) 制度利用に関する相談
- (2) 相談ケースへの個別対応
- (3) 申し立て時の書類確認等の支援

#### 3 成年後見制度利用促進機能

##### 【取組内容】

- (1) 日常生活自立支援事業等関連制度からのスムーズな移行
- (2) 地域連携ネットワークの連携促進
- (3) 受任者調整（マッチング）等の支援（令和 4 年度以降）

#### 4 後見人支援機能

##### 【取組内容】

- (1) 後見人からの相談受付（令和 4 年度以降）
- (2) 市民後見人の養成に向けた取り組み（令和 4 年度以降検討）

**（※3）日常生活自立支援事業**

判断能力が弱まってきた高齢者や知的障がい者、精神に障がいのあるかたがたが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理、書類等の預かりなどを行うもので、秋田市社会福祉協議会が実施している事業です。サービスを利用する意思があり、契約の内容がある程度理解できるかたが対象となります。

**（※4）成年後見制度利用支援事業**

成年後見制度の利用にあたり、申立手続きや申立費用、後見人等への報酬について支援を行うもので、秋田市が実施している事業です

**・申立について**

判断能力が十分でないかたが、成年後見人等を必要とする場合に、親族等の申立権者からの申立が期待できないかたに対し、市長が申立人となって後見等開始申立および申立経費の予納を行います。また、申立権者である本人および親族が経済的理由により後見等開始申立ができない場合に、裁判所に予納する費用の全部または一部を助成します。

**・後見人等への報酬の助成について**

被後見人等が、家庭裁判所からの報酬付与の審判に基づいて負担すべき成年後見人等への報酬について、生活保護受給者等の支払能力のないかたに対して報酬費用を助成します。